

この前、理科の授業で火山について勉強しました。日本は火山大国って、なんとなく知っていたけど気になったので、家に帰ってからパパとママにくわしく聞いてみました。パパが「火山はマグマのはたらきでできた山なんだよ」と教えてくれました。

「実は発電にもマグマの力がいかされているんだぞ」とパパが言いました。わたしが驚いていると、「マグマによって熱せられた蒸気でタービンをまわして電気をつくることを“地熱発電”っていうんだ」とパパは説明してくれました。わたしは、マグマが生活の役に立つなんて不思議に思いました。

そこで今日、パパとママと図書館に行って地熱発電について調べてみました。二酸化炭素がほとんど出ないクリーンなエネルギーで、日本の地熱の資源量は世界で第3位ということがわかりました。「これからは地熱も日本の大切な資源になるのか」とパパが感心していました。地下から出てきた蒸気や熱水で、わき水や川の水を温めて温水として活用することもできるそうです。

調べているうちに、出光も1980年代から地熱発電の研究に取り組んでいることがわかりました。石油以外の資源も開発しているなんて知らなかったのでびっくりしました。パパとママも「わたしたちが子どものころから研究しているのね」と驚いていました。1996年に出光が九州電力と大分県につくった発電所では、ずっと安定して電気をつくっているそうです。

図書館からの帰り道、パパが「噴火しなければ火山もいやつなんだな」と言いました。「いつもパパを怒っているママのエネルギーも、地熱発電みたいに使えたらとってもエコだよ」と言ったら、みんなが大笑いしました。地球にもっと優しくできたらすてきだな、と思いました。



マグマで熱せられた蒸気でタービンをまわしている九州電力滝上発電所。



マグマで熱せられた地下水が蒸気になったり、熱水になったり。



出光と九州電力が共同で運営している滝上発電所